

# 大河内 喜代子さん (木戸西町)



お年寄りが好き！童謡唱歌が好き♪と  
明るく笑顔で話す大河内さん

## お年寄りが好き 童謡唱歌が好き

3年前に脳梗塞を患い今も右手にしびれが残っている大河内喜代子（おおこうち・きよこ）さん（74）は、何ごとも思ったらすぐに行動する人です。

20年前に実母が61歳で認知症になった時、童謡唱歌を歌うと一緒に楽しそうに口ずさんでいるのが、きっかけとなり、童謡唱歌を歌っている場所を捜したが見

当たらず、友人と5人でラブリールホールに行きピアノを貸してほしいと依頼し、教室を始めました。今は第4月曜日はラブリールホール、第1月曜日はノバティール、第1月曜日はノバティールホールで、初めにラジオ体操で身体をほぐし、童謡唱歌の説明をしてみなさんと一緒に歌っています。最高齢は87歳、2ヶ所約100人が参加しています。

病気をするまでは3ヶ所のグループホームで、童謡唱歌を歌うボランティアをされていて、「お年寄りがいきいきと楽しく歌っている様子を見るのが生きがいになっています」。

### 何があっても ケセラセラ

平成27年に脳梗塞を患っています。「普段から血圧が高く、めまいもしていたので、医者にはかかっていたのですがある日、靴下を上げたときに右手がしびれ、肩までしびれ、すぐに救急車で病院へ行きました。今も右手にしびれが残っていますが活動は続けています。振り返ると30、40代は主人が難病のため仕事の手伝いで外出する行き帰り

に、ピアノのレッスンに行き、帰宅すると父母と3人の子供と7人分の食事の支度をしていました。今思えばその時期は大変だったかなー」と明るく話してくれました。



歌の指導をする大河内さん（右端）

10年前の写真があるとアルバムを見せてくれました。お話が好きで多くの友人が自宅に集まったり、電話でもよく話をしていました。お花が好きなので家によく持って来てくれるそうです、取材中も電話がかかり、紫陽花を持って来てくれるとの事でした。

「好奇心と行動」  
「独居のお年寄りが教室に来ておしゃべりをし喜んでくれます。他の人とは話をしないが、私にはよく話してくれる人もいて、自分のしている事が誰かの役に立っていることが嬉しい。今まで走り続けてきたのでゆっくりしたいと思うが、歌はずっと続けたいと思っていて、周りの人からしんどそうねと言われる事もあるのですが、続けてくれるように言われます。11月の誕生日まで現状維持。今後は10歳年下の伴奏者が引き継いでくれる予定です」  
小学4年生の時にピアノかダンス（バレエ）か迷った時に、ピアノを選ばれたそうです。その事が74歳の現在の活動に通じているのだと感動しました。大河内さんは思ったことは行動に移し、何事にも好奇心を持つ事が原点なのだと感じました。（有賀 登喜子）